

**EF シネマレンズ「CINE-SERVO レンズ」シリーズのラインアップを拡充  
8K カメラに対応する光学性能と高倍率の 10 倍ズームを実現**

キヤノンは、EF シネマレンズの新製品として、CINE-SERVO レンズ<sup>※1</sup> “CN10×25 IAS S/E1 (EF マウント)” と “CN10×25 IAS S/P1 (PL マウント)” を、2020年7月上旬に発売します。



CN10×25 IAS S/E1 (EF マウント)  
CN10×25 IAS S/P1 (PL マウント)

新製品は、8K カメラに対応する光学性能と高倍率の 10 倍ズームを実現し、1.5 倍のエクステンダーをレンズ本体に内蔵した「CINE-SERVO レンズ」シリーズの EF シネマレンズです。8K カメラに対応する高い光学性能を生かして、4K カメラでも高品位な 4K 映像の撮影ができます。肩担ぎが可能な軽量設計に加え、放送用レンズ同様の操作性を実現する着脱可能なドライブユニットを標準装備しており、放送コンテンツ制作用途から、映像制作用途まで幅広いニーズに対応します。

**■ 8K カメラに対応する光学性能**

特殊低分散ガラスを用いたレンズや大口径非球面レンズを採用し、それらを最適配置する独自の光学設計技術により、色にじみや色収差を良好に補正し、ズーム全域で画面中心から周辺部まで 8K カメラに対応する光学性能を達成しています。1.5 倍の内蔵エクステンダー使用時でも、8K カメラに対応する光学性能を維持しており、高品位な 8K 映像を撮影できます。

**■ 幅広い焦点距離を持つ 10 倍ズーム**

映像制作市場で業界標準となるスーパー35mm 相当サイズの大判センサーを搭載したカメラに対応するレンズとして、焦点距離 25-250mm をカバーする 10 倍ズームを実現しています。内蔵エクステンダー使用時は、ズーム域を焦点距離 37.5-375mm に切り替えられるほか、35mm フルサイズセンサーに対応するレンズとして使用することもできます。

**■ 着脱可能なドライブユニットや快適な撮影を実現する多彩な機能**

着脱可能なドライブユニットを標準装備し、ドライブユニットを取り外すことにより映像制作市場で主流のマニュアル操作にも対応します。また、“CN10×25 IAS S/E1 (EF マウント)” は、CINEMA EOS SYSTEM のデジタルシネマカメラ<sup>※2</sup>との組み合わせにより、動画撮影に適した滑らかな AF 動作と高い追従性を実現した「デュアルピクセル CMOS AF」などが使用できます。

製品名	希望小売価格	発売日
CN10×25 IAS S/E1 (EF マウント)	オープン価格	2020年7月上旬
CN10×25 IAS S/P1 (PL マウント)		

※1 大判センサーを搭載したカメラに対応する、ドライブユニットを標準装備したレンズの総称。

※2 対応機種は、「EOS C700 FF」(2018年7月発売)、「EOS C700」(2016年12月発売)、EF マウント交換時の「EOS C700 GS PL」(2016年12月発売)、「EOS C500 Mark II」(2019年12月発売)、「EOS C300 Mark III」(2020年6月下旬発売予定)、「EOS C300 Mark II」(2015年9月発売)。機種によりカメラ側のファームアップが必要です。

## <主な特長>

### 1. 8K カメラに対応する高い光学性能

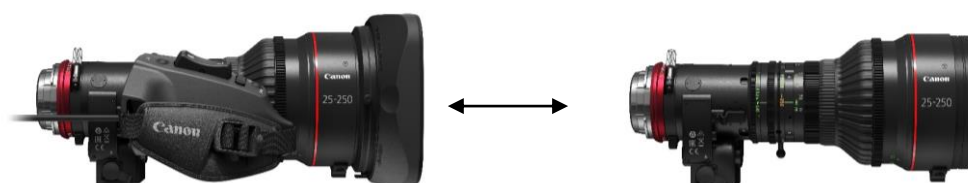
- ・特殊低分散ガラスなどの最新の光学材料、大口径非球面レンズの最適配置、多群ズーム方式の採用により、ズーム全域で画面中心から周辺まで 8K カメラに対応する高い解像力とコントラストを達成。1.5 倍の内蔵エクステンダー使用時においても、8K の光学性能を維持。
  - ・蛍石、UD レンズ※、Hi-UD レンズ※などの特殊低分散ガラスを用いたレンズを最適配置することにより、色にじみや色収差を良好に補正し、画面の隅々まで優れた色再現性を達成。
  - ・円形に近い開口形状を保つことができる 11 枚絞り羽根を採用し、柔らかく自然なボケ味を実現。
- ※ 「UD (Ultra Low Dispersion=特殊低分散) ガラス」を用いたレンズ。Hi-UD レンズは、UD レンズの性能を向上させたレンズ。

### 2. 幅広い焦点距離を持つ 10 倍ズーム

- ・デジタルシネマカメラ「EOS C300 Mark III」(2020 年 6 月下旬発売予定) など、映像制作市場で業界標準となるスーパー 35mm 相当サイズの大判センサーを搭載したシネマカメラに対応するレンズとして、焦点距離 25-250mm をカバーする高倍率 10 倍ズームを達成。
- ・1.5 倍の内蔵エクステンダー使用時、ズーム域を焦点距離 37.5-375mm に切り替え可能。また、エクステンダー使用時に、EF シネマレンズのズームレンズとして初めて、デジタルシネマカメラ「EOS C500 Mark II」(2019 年 12 月発売) などのフルサイズセンサーを搭載したシネマカメラに対応。大判センサーの特長である浅い被写界深度により、自然で美しいボケ味を生かした撮影が可能。
- ・今回の新製品発表により、「CINE-SERVO レンズ」シリーズのラインアップがさらに拡充。焦点距離 17-120mm をカバーする 7 倍ズームの「CN7×17 KAS S/E1 (EF マウント)」、 「CN7×17 KAS S/P1 (PL マウント)」(2014 年 8 月発売)、焦点距離 50mm-1000mm をカバーする 20 倍ズームの「CN20×50 IAS H/E1 (EF マウント)」、 「CN20×50 IAS H/P1 (PL マウント)」(2015 年 4 月発売) と異なる焦点距離をカバーし、用途や撮影シーンに応じてユーザーの選択肢を拡大。

### 3. 着脱可能なドライブユニットや快適な撮影を実現する多彩な機能

- ・着脱可能なドライブユニットを標準装備し、従来の放送用レンズ同様の電動駆動によるレンズ操作を実現。ドライブユニットでの操作が主流である放送市場のプロユーザーに対応。
- ・ドライブユニットを取り外すことにより映像制作市場で主流のマニュアル操作が可能。
- ・放送用カメラの標準インターフェースである 12 ピンシリアル通信に対応。一般的な放送用レンズ同様、ドライブユニットへの電源供給、フォーカス/ズームのサーボ操作が可能。
- ・「CN10×25 IAS S/E1 (EF マウント)」は、EF マウントの通信プロトコルに対応し、「CINEMA EOS SYSTEM」のデジタルシネマカメラとマウント経由で情報通信が可能。撮影時のレンズ情報を記録し、周辺光量補正、倍率色収差補正ができるほか、カメラ側が持つ各種機能に対応。
- ・「CN10×25 IAS S/P1 (PL マウント)」は、映画などの映像制作市場で広く使用されている Cooke 社の通信規格「/i Technology」に対応。フォーカス/ズーム/絞りの位置データやレンズの型名などのレンズ情報がカメラ本体などで表示、記録可能。



ドライブユニットが着脱可能

## <ご参考：シネマレンズのラインアップについて>

キヤノンは、2011年11月にCINEMA EOS SYSTEMのトップエンドズームレンズシリーズ、単焦点レンズシリーズを発表して以来、CINE-SERVO レンズやCOMPACT-SERVO レンズなどの新シリーズを加えながらラインアップを拡充し、幅広いユーザーから高い評価を獲得してきました。このたび、「CN10×25 IAS S/E1 (EF マウント)」と「CN10×25 IAS S/P1 (PL マウント)」を加え、シネマレンズのラインアップを合計 30 機種に拡充することで、用途や撮影シーンに応じて、ユーザーの求める画作りを強力にサポートします。高画質で多彩な映像表現を求める映像制作のニーズに応え、映像表現領域の拡大に貢献します。



EF マウントのシネマレンズ 16 本と  
PL マウントの「Sumire Prime」7 本

	EF マウント 16 本	PL マウント 14 本
トップエンド ズームレンズ	CN-E14.5-60mm T2.6 L S	CN-E14.5-60mm T2.6 L SP
	CN-E30-300mm T2.95-3.7 L S	CN-E30-300mm T2.95-3.7 L SP
コンパクト ズームレンズ	CN-E15.5-47mm T2.8 L S	CN-E15.5-47mm T2.8 L SP
	CN-E30-105mm T2.8 L S	CN-E30-105mm T2.8 L SP
単焦点レンズ	CN-E14mm T3.1 L F	CN-E14mm T3.1 FP X <sup>※</sup>
	CN-E20mm T1.5 L F	CN-E20mm T1.5 FP X <sup>※</sup>
	CN-E24mm T1.5 L F	CN-E24mm T1.5 FP X <sup>※</sup>
	CN-E35mm T1.5 L F	CN-E35mm T1.5 FP X <sup>※</sup>
	CN-E50mm T1.3 L F	CN-E50mm T1.3 FP X <sup>※</sup>
	CN-E85mm T1.3 L F	CN-E85mm T1.3 FP X <sup>※</sup>
CINE-SERVO レンズ	CN20×50 IAS H/E1	CN20×50 IAS H/P1
	CN10×25 IAS S/E1	CN10×25 IAS S/P1
	CN7×17 KAS S/E1	CN7×17 KAS S/P1
COMPACT-SERVO レンズ	CN-E18-80mm T4.4 L IS KAS S	
	CN-E70-200mm T4.4 L IS KAS S	

※ PL マウントを採用した単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」。

## シネマレンズのラインアップ

### **<シネマレンズの市場動向>**

映画をはじめとする映像制作の現場では、浅い被写界深度による豊かな映像描写が魅力の大判センサーを搭載したカメラが普及しており、これらのカメラに対応する高い光学性能を持つレンズへのニーズがこれまで以上に高まっています。スポーツイベント、ドラマ、CMなどの撮影現場では、高感度・低ノイズ・浅い被写界深度など、大判センサーを搭載したカメラの表現力を生かした映像制作が広がりつつあります。これに伴い、放送業界では、従来の大判センサー搭載カメラ対応ズームレンズにはない焦点距離、優れた光学性能、操作性、可搬性を兼ね備えたレンズへのニーズが高まっています。(キヤノン調べ)

### **<主な製品仕様>**

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。